

2023年度 会員研修室 会員研修委員会 方針（案）

委員長／越後 恒 副委員長／佐藤 元気 委員会幹事／太齋 秀平
 委員／京谷 雅翔 小坂 久美子 越田 光春 富山 俊介 伏見 司 松井 久紀
 松倉 理加 松坂 裕人 三浦 裕太

委員長 越後 恒

1 現在、J C I 函館は運動経験の少ないメンバーが増え、さらに昨今の社会情勢の影響から、
 2 会員の資質向上につながる機会が減少したことで、本来すべき社会の課題を解決すると
 3 いう J C の理念をメンバーが実感する機会が減少しています。自己研鑽に努めるメンバー
 4 のもとで改めて理念を共有し、能動的に運動する人材を増やし組織力を高めながら、持続
 5 的に地域の発展に貢献する必要があります。

6 まずは、我々の運動に対するつながりや協力体制をより強固なものにするために、一年
 7 間の活動方針をお披露目することで、運動の輪を広げます。そして、新入会員とともに円
 8 滑な J C 活動を行うために、課題に対して制限時間内に自らの考えを発信する機会を設け
 9 ることで、メンバー間の交流を促進する契機とします。さらに、新入会員が J C を理解す
 10 るために、J C の理念や歴史を学ぶことで、J A Y C E E としての意識を高めます。また、
 11 メンバーの成長の契機とするために、J C の意義や目的を学ぶ機会を設けることで、能動
 12 的に活動する意識を醸成します。そして、組織力向上のために、メンバーが共通の目標に
 13 向かって友情を育みながら能動的に取り組み、他 L O M との交流を深めつつ、尽力した結
 14 果を体験することで、メンバーの成長につなげます。さらにメンバーの交流を深める契機
 15 とするために、地域の盛り上がりと共に体感することで、組織としての一体感を醸成しま
 16 す。また、次代に向けて新たな一步を踏み出すために、メンバーが結束力を高めながら卒
 17 業生に感謝を伝えることで、メンバーが志を一つに今後に向けて活動する契機とします。

18 メンバー同士が活動を通じて互いに感性を磨きあうことで個々の能力が向上し、J C の
 19 理念を共有することで志を一つにした我々は、地域発展に向けた能動的な活動と豊かな社
 20 会を実現する役割を担い続け、地域から今以上に必要とされ、愛される団体となります。

21 事業計画

- 22 1. 新年交礼会の運営
- 23 2. 3 分間スピーチの運営
- 24 3. 3 月例会（会員研修会）の運営
- 25 4. 6 月例会（道南エリアスポーツ大会）の運営
- 26 5. 8 月例会（わっしょい函館）の運営
- 27 6. 1 2 月例会（卒業式）の運営
- 28 7. 新入会員オリエンテーションの開催
- 29 8. じゃがいもクラブ全国大会への協力
- 30 9. 新入会員の拡大
- 31 10. 各会員及び出向者への協力
- 32 11. 各種大会・会議への参加

33 [年間事業フレーム](#)